

平成28年度施策評価調書

整理番号	32
評価担当課	農務課
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	農業・商業分野における食育推進		
総合計画の位置づけ	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
	主要施策	6	食育の推進

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	市民に食の大切さについて理解を深めるとともに、地域食材や加工品の良さを伝え地産・地消につなげていく
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	農業体験や農産物の直売などを通じて消費者と生産者の交流を図るとともに、産業まつりや地産・地消フェアなど地場産品を紹介するイベントの開催により、多くの市民が参加できる場を創出している。
施策の課題	イベントの実施だけでなく通年の取り組みとなるよう検討していく必要がある。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度(年度)
産業まつり入込客数	産業まつりの来場者数	目標値	6,000	6,000	6,000	
		実績値	6,000	6,000	7,000	
		進捗率	100%	100%	117%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	イベントの開催により、多くの市民に地場産品に対する理解が深められている。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

各種イベントを中心に多くの市民に農業・農産物に対する理解を深め、食に対する意識を高めていく必要がある。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	産業まつり負担金	産業まつり実行委員会への負担金	1,300	a	a	a	b	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

地産地消フェア実施、グリーンツーリズム推進事業

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	32	枝番	1
評価担当者・係・職名・氏名	経済部農務課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	産業まつり負担金			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
		主要施策	6	食育の推進
		基本事業	3	農業・商業分野における食育推進
		実施計画事業	2	地域食材の地産地消の推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	地場農畜産物や加工品など地域食材の良さを伝え、食の大切さについて理解を深める			
対象(何を又は誰を)	市内外の市民			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	多くの市民が参加できるイベントとして産業まつりを開催し、地場農畜産物や加工品の販売を始め林業・商工業など地元産業の紹介を行う			
意図(どのような成果を期待しているか)	旬の農産物の良さや生産者との交流を通じて、農業をはじめ地場産業への理解を深める。			
事業実施主体	産業まつり実行委員会			
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有 (終期 年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 まつり参加団体	件	目標	47	43	39	40	
			実績	47	43	39		
	2	目標						
		実績						
	3	目標						
		実績						
成果指標	1 来場者数	人	目標	6000	6000	6000	6000	
			実績	6000	6000	7000		
	2	目標						
		実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	1,200	1,200	1,300	1,300	実行委員会負担金 1,300千円
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	1,200	1,200	1,300	1,300	
人件費	2,005	1,989	1,947	1,873	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.30	0.30	0.30	0.30	
総事業費	3,205	3,189	3,247	3,173	
対前年比(%)	—	99	102	98	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	市内の地元産業を市内・外へPRするイベントして定着し多くの方の来場をいただいております、地場産業・市民のニーズは高い。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	来場した市民と直接交流することで、より理解が深まることから有効なイベントである。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	運営経費については、毎年度見直しを行いながら進めているが、来場者数に見合う必要な体制を確保するためには妥当と考える。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	b	出店者から参加費用をもらい運営の一部に充てている。また、開催会場が健康の森のため、巡回バスの運行などにより自家用車等を持たない方が参加しやすいような工夫に引き続き取り組む。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	多くの出店者及び来場者により事業の目的が達成されている

5 1次評価

評価結果	理由	
A	地場産の農産物・加工品などについて、多くの市民に知っていただく機会として有効な取組であるとともに、生産者と消費者との交流も図られている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり